

会員の皆様へ 農業委員会庄内地方協議会の 活動を紹介します！

山形県農業委員会
女性の会
からの

お知らせ

No.36

明日の活力になるような会を目指して！

発行：山形県農業委員会女性の会事務局
<(一社)山形県農業会議>
令和8年2月18日発行

1Blue(株)の佐久間麻都香さんと参加者

羽黒山の精進料理と庄内柿を用いたエナジーバーの製造について学ぶ 庄内地区農業委員会女性の会研修会を開催！

山形県農業委員会女性の会では、女性委員の活動等を紹介するお知らせを発行しています。
今回は、農業委員会庄内地方協議会の活動をご紹介します。

農業委員会庄内地方協議会は令和8年1月28日「令和7年度庄内地区農業委員会女性の会研修会」を開催しました。

この研修会は、庄内地域の女性委員同士の交流を深め、活動の活性化を図ることを目的として毎年度実施しています。今年度は委員・事務局などあわせて25名が参加しました。

はじめに、羽黒山参籠所齋館で、料理長より羽黒山に伝わる精進料理の歴史について「伝統的な独自の味付けで、出羽三山で採れた旬の食材が使われている」との説明を受けました。参加した委員からは「料理の歴史や背景を知ることによって自然の恵みへのありがたみが増した。」「普段食べる機会がない料理の味わいに感動した。」などの感想がありました。

その後、1Blue(株)で、庄内柿を用いたエナジーバーの商品化までの経緯や製造・販売における取り組み、今後の展望についてお話を伺い、製造機械を見学しました。

エナジーバーは、庄内柿の味を活かすため材料にこだわって開発されており、現在はオンラインショップや直売所、SNSでの販売に加え、海外(台湾、香港等)への輸出も行っています。「庄内地域の特産品を世界へ広め地域農業の活性化に貢献したい」という社員の方々の熱意や行動力に、多くの参加者が刺激を受けていました。

羽黒山参籠所「齋館」で精進料理の歴史を学ぶ



庄内地域の女性委員が
交流を深めました！

1Blue(株)でのエナジーバー製造
などの視察研修



柿を用いた→
エナジーバー



この研修は山形県農業会議の「農業委員会女性委員等地域交流推進事業」を活用しています。



山形県の女性委員(農業委員・推進委員)は、令和7年12月現在、83名です。

令和7年4月11日に閣議決定された新たな「食料・農業・農村基本計画」の人と農地に関する目標(KPI)で「農業委員会に占める女性農業委員の割合30%」としています。

山形県の女性農業委員の割合は、現在15.2%です。

女性委員の仲間を増やし山形県の女性委員の輪を一緒につくっていきましょう！

山形県農業委員会女性の会は
次のステージへ！

県内農業委員会の皆様へ向けて、情報発信したい女性委員や委員会の取り組み等がございましたら、ぜひ、女性の会事務局へご連絡ください。

©2026 (一社)山形県農業会議